

学校の規模に関するアンケート調査 自由記述

- ・ スクールバスに関する御意見 1
- ・ 部活動に関する御意見 1
- ・ 他校との交流に関する御意見 2
- ・ 保育園は同じで、小学校で分かれ、また中学校で同じになることが疑問という御意見 2
- ・ 大規模校のメリットに関する御意見 3
- ・ 大規模校のデメリットに関する御意見 3
- ・ 小規模校のメリットに関する御意見 3
- ・ 小規模校のデメリットに関する御意見 4
- ・ メリット・デメリットどちらもあるという御意見 5
- ・ 少人数学級のメリットに関する御意見 6
- ・ 学校統廃合によるメリットに関する御意見 6
- ・ 学校統廃合によるデメリットに関する御意見 6
- ・ 具体的な学校統廃合に関する御意見 7
- ・ 新しい学校に関する御意見 7
- ・ 検討委員会の進め方に関する御意見 8
- ・ 人口増に関する御意見 9
- ・ その他の御意見 9

スクールバスに関する御意見

- メリット
 - ・ 交通安全への不安が少ない。
 - ・ 先生方の負担も減る。
 - ・ バスを活用した合同部活はいいアイデア。
 - ・ 悪天候の日は安全。
- デメリット
 - ・ バスの時刻が限られると送迎の必要がある。
 - ・ 歩きながら交流できない。
 - ・ 歩く機会が少なくなり運動不足になる。
 - ・ バス使用のマナーなどを守れない子がいる。
- 要望等
 - ・ 最終下校時刻まで使えるようにしてほしい。
 - ・ 部活動の朝練のための早いバスや、土日にも出してほしい。
 - ・ ハーバス、岐阜バス、オンデマンドタクシーの活用。
 - ・ 岐阜バスと協力し通学専用バスの導入。
 - ・ 自転車通学の区域を見直してほしい。

部活動に関する御意見

- 少人数の現状
 - ・ やりたい部活動が制限される。
 - ・ 練習もままならず存続が難しい。
- 合同部活動について
 - ・ とってもいいアイデアなので、合同部活を増やしてほしい。
 - ・ 平日の練習などの課題をしっかりと決めてほしい。
 - ・ 平日の部活の帰りのバスがない。
 - ・ 部活動のときだけ一緒はお互いやりづらい。
 - ・ 合同は仕方がなく、学校単独の部活動はなくてよい。
 - ・ オンラインでのトレーニングやミーティングなど、それぞれの学校で活動する日を作ってみては。
 - ・ 合同部活以外のとき、他の2校の生徒が参加できないのは不公平。
 - ・ 合同ではなく、学校代表として活動させたい。
 - ・ 色々な学校や学年の子どもとコミュニケーションがとれる。
 - ・ 規模の大きな学校の生徒の中に入るのが大変だったり、練習できる日が限られたりして、思うように活動ができないのが現実。

- ・ 学校が遠いと、毎週末の送迎は困難。
 - ・ 市のスポーツクラブを充実させれば部活動の代わりになり、教師の負担が減り、子どもは学校をまたいだ人間関係ができてよい。
- その他
- ・ 文化系の部活の選択肢が増えるとよい。
 - ・ 部活動の数を増やすなら全員参加にするべき。
 - ・ 部活動の指導者確保の面で、3校の差が大きすぎる。

他校との交流に関する御意見

- ・ 他校と多く交流するなど、中学に入学してから知らない人ばかりという不安を減らしてほしい。
- ・ 大人数と接する機会が少ないのならば、他校と接する交流会などの行事をすればよい。
- ・ オンラインで、他校（近隣の小中学校、大学など）や地域の方々との交流授業なども取り入れてほしい。
- ・ 各小学校対抗のスポーツ行事や社会科見学、野外学習など交流ができればよい。
- ・ 中学校で同じになるなら、小学校のうちに交流する機会を増やすとよい。
- ・ 全校児童の少ない小学校から大人数の中学校へ進学すると、大勢の環境になじめず学校へ通えなくなる子どもを何人も見てきた。小学生のうちにもっと交流する時間があれば、違ったかもしれない。
- ・ 小学校のころから他の学校と関わる機会を設けると、他校の様子を知ることができてよい。
- ・ 教科によっては、タブレットを利用しながら他校との意見交換など多様性は育まれているようにも思うが、実体験で切磋琢磨する機会が少ない。
- ・ 学校統合がすぐに難しくても、運動会や行事を合同で行ってほしい。

保育園は同じで、小学校で分かれ、また中学校で同じになることが 疑問という御意見

- 大桜保育園に関して 9件
- 伊自良保育園に関して 5件
- みやま保育園・富波保育園に関して 2件

大規模校のメリットに関する御意見

- ・ 多種多様な考えに触れ、認め合うことができるようになる。
- ・ 色々な子と接し、競争ができる。
- ・ 集団生活から学べ、成長に繋がる。
- ・ ある程度の人数がいるため、運動会等の行事が盛り上がる。
- ・ 教職員が体調不良の場合でも対応が取りやすい。
- ・ 子ども同士や親同士がトラブルになったとき、クラス替えができる。
- ・ 小学校は1クラスですつといじめられていたが、中学校では複数のクラスになり、新しい環境で友達ができた。(保護者の実体験)
- ・ クラス替えで気持ちのリセットできる。

大規模校のデメリットに関する御意見

- ・ 1学級の人数が増えると、先生の目が行き届きづらくなり、いじめなどがありそうで不安。
- ・ 40人学級は、コロナ禍でもあり教室がとても密。
- ・ 机が多くなれば、イスを引くときや机の間を通るときなど気を使う。
- ・ 中学生は体も大きく、40人学級は窮屈で、圧迫感やストレスを感じている。
- ・ 教室がいっぱいで、参観できない。
- ・ 人数が多すぎてまとまりがなくなる気がする。
- ・ ひとりひとり親身に関わってほしいので、1クラス35人以下になるとよい。
- ・ 1クラスあたりの人数は決まっているのはわかるが、クラスターを発生させない、濃厚接触者をつくらない環境がない。
- ・ コロナ禍で、教室で授業参観ができない状態に疑問。

小規模校のメリットに関する御意見

- ・ 関わりが深く良好な関係を築くことができ、卒業後も交流が続く。
- ・ 生徒ひとりひとりに教師の目が行き届く。
- ・ 地域の方たちとも顔見知りになり、信頼関係も学べる。
- ・ 学年の垣根なく活動できる。
- ・ 生徒数が少ないことで周りとの関係性が強くなり、その中での役割が大きくなる。
- ・ 小規模校だからこそ、コロナ禍でのオンラインの取組などの対応が迅速にできた。
- ・ 上級生、下級生との関わりなどの小規模校のプラス面は、子どもの将来にも大きく関係する。
- ・ 学年を問わず一緒に遊んだり、他学年と一緒に授業を受けたり、給食の配膳を助

けたりする良さがある。

- ・ 大規模校では不登校気味だったが、小規模校へ転校しアットホームな雰囲気を感じた。（保護者の実体験）
- ・ 教員の目が行き届き、子どもひとりひとりの性格等もわかってもらえる。
- ・ 小規模校だったから、コロナ禍でも例年どおり行事を行えたり通常どおりの学校生活を送れたりした。
- ・ 子どもにとって、上下関係なく皆で遊べることが重要。
- ・ 地域とのつながりがあり安心感がある。
- ・ いじめにいち早く気づくことができる。
- ・ 先生が兄弟姉妹のことも知っている。
- ・ どの先生からも名前を呼んでもらい温かく見守ってもらえた。

小規模校のデメリットに関する御意見

- ・ 授業や行事など、色々なことに制限される。
- ・ 規模が小さいと、特別支援学級もつくりにくくなる。
- ・ 人数が集まらずできない部活動がある。
- ・ 将来的な面でリスクが多いと思う。
- ・ 人的リソースの無駄使い。
- ・ 中学校に進学したとき、友達が少なく登校拒否にならないか心配。
- ・ 登下校の人数が少ないのは心配。ひとりになる可能性もある。
- ・ 複式学級になると、子どもどうしの学び合いの質の低下がある。
- ・ 新しい友達を作る機会が少なく、中学校、高校入学時に大きな集団で過ごすことになり、そのギャップに順応できるか不安。
- ・ 複式学級で適切な教育を受けることができるのか不安。
- ・ 複式学級になってしまうのは学力の面でも心配。
- ・ 複式学級になると、先生の負担が多くなりひとりひとりに対してきめ細かな指導ができなくなる。
- ・ 各学校で6年間の間にできあがった人間関係の中に、小規模校の子どもたちが入っていくのは大変。
- ・ P T Aの役員等を6年間に何度もやる負担がある。
- ・ 子どもの数が少ないのに、役員を必要としすぎ。
- ・ 複式学級だと友達が固定される。
- ・ 複式学級で十分な教育環境が得られるのか心配。
- ・ 食材のロスが多くなり給食費が高くなる。
- ・ 多様な考え方に触れられない。

- ・ 行事で、必要以上に高学年の子に頼らなければならない場面がある。
- ・ 切磋琢磨して競い合う経験ができない。
- ・ 友人関係の固定化や序列化、相互の評価等も固定化される。
- ・ 協調性を養う機会が少ない。
- ・ 運動会の種目等に制約がある。
- ・ 徒歩通学ではないので体力がつかない。
- ・ いじめやケンカなどの問題が起きても、その仲間との関係が続く。
- ・ 校区が広いと、親が子どもの友達のこと（地区、兄弟姉妹、保護者など）を把握できない。
- ・ 6年間、9年間毎年同じメンバーではさみしい。
- ・ 小規模校で9年間過ごし、その後高校に入学したときは、あまりにも多い人数に驚き、恐怖を感じた。（知り合いの体験談）
- ・ 一定の人との関係性しか作れず、将来困る。
- ・ 他学年を含めないとドッジボールができない。
- ・ 小規模校から中学校へ進学し、大勢の環境に馴染めず学校へ通えなくなる子を何人も見てきた。

メリット・デメリットどちらもするという御意見

- ・ 複式学級や同じメンバーで長年過ごすこと、多くの友達や人との関わりがあること、どちらも一長一短がある。
- ・ 少人数だからといってできないことばかりではなく、人が多くても孤立することもある。
- ・ 小規模校は、きめ細かい指導ができる一方、あまりに限られた集団の中では、社会で生きる力の育成に課題がある。
- ・ 学校の規模にかかわらず、子どもの性格によって合う、合わないがある。
- ・ 小規模校だからといって、ひとりひとりに寄りそえるとは限らない。
- ・ ひとりひとりに教師や地域の目が行き届くことはもちろん必要だが、守られすぎて過保護になる。
- ・ 少人数だから経験できることもあるが、多くの友達と切磋琢磨する機会がもっと多いといい。
- ・ 1学級は、親密な関係ができるメリットがあるが、クラスになじめなかったときにリセットしにくいというデメリットもある。
- ・ 6年間一緒に仲のよいクラスだが、人数が減って複式学級になるのは抵抗がある。
- ・ 少人数のよさもあるが、子どもたちの可能性を伸ばすにはある程度的人数の中で成長する環境を作ることがベスト。

少人数学級のメリットに関する御意見

- ・ 大規模校では担任のサポートをする人がいると聞くと、それなら1クラスの人数は少ない方がよい。
- ・ 低学年のうちには1クラス20人程度で、きめ細やかな指導をしてほしい。
- ・ 1クラス11人～20人で複数のクラスを編成ができれば、先生の日も行き届くし友達関係も固定化されにくい。
- ・ 20人程度の学級で個々の主体性や協調性を養ったほうが「その他大勢」にならずに済む。

学校統廃合によるメリットに関する御意見

- ・ 合併することで、冷暖房などの環境面でも良い方向に進むと思う。
- ・ 中学校はひとつで500～600人規模であれば、様々な活動ができ盛り上がる。
- ・ 統合で削減した予算で、支援員の先生や加配の先生を得たらどうか。
- ・ 奥の方に住んでいる子たちが市内中心部の学校に来ることにより、帰り道に習い事に行ける。
- ・ 複式学級になるより、合併して同じ学年だけでクラスがつかれるほうがいい。

学校統廃合によるデメリットに関する御意見

- ・ 校区が広いと、通学が大変になる。
- ・ 学校から遠くなると、徒歩通学は心配。
- ・ 学校がなくなると地域がさびれ、地域の人々がさびしい思いをする。
- ・ 地域全体の過疎化が進んでしまう。
- ・ 保育園も小学校も無い地域に引っ越してくる方は少ない。
- ・ 積雪のない地域でも学校が休校になる場合があるので、あまり広い範囲で統合してほしくない。
- ・ 母校がなくなるとはさみしい。
- ・ 統合により、市民運動会のような行事も減り、親同士のつながりも減り、人づき合いも希薄になってしまう。
- ・ 学校が遠くなると、子どもがいる家庭はそこに家を建てなくなる。
- ・ 小学校が遠くなると不便になり若い方たちが住まなくなってしまう。
- ・ これ以上過疎化が進まないためにも学校を残してほしい。
- ・ 小学1年生の子が遠距離を通学することは無理。
- ・ 登校時間が大幅に早まる。
- ・ 地区とのつながりが大切なので、統合だけがよいわけではない。

具体的な学校統廃合に関する御意見

- 小学校の統廃合
 - ・ 高富小・梅原小の統合
 - ・ 富岡小・大桑小・桜尾小の統合
 - ・ 梅原小・大桑小・桜尾小の統合
 - ・ 大桑小・桜尾小の統合（大桑と桜尾は保育園も一緒）
 - ・ 伊自良南小・伊自良北小の統合
 - ・ 伊自良南小・伊自良北小・梅原小の統合。それでも少人数なので、もっと大きな統合も必要。
 - ・ 美山小・いわ桜小の統合
 - ・ 高富、伊自良、美山地域ごとの合併はいいが、それ以上の合併は必要ない。
 - ・ 高富、伊自良、美山地域それぞれひとつの小学校に統合。
 - ・ 複式学級のある小学校は、旧町内、旧村内の学校と統合。
 - ・ 高富、伊自良、美山に1校ずつ拠点の小学校を置き、10年後には高富に統合。
- 中学校の統廃合
 - ・ 伊自良中・高富中の統合
 - ・ 近い将来、中学校は1校でよい。
- 校区の見直し等
 - ・ 梅原小、大桑小、桜尾小の進学先は伊自良中にしたほうがいい。
 - ・ 桜尾と大桑で中学校があるといい。
 - ・ 高富中学校へひとつにするのではなく分けてほしい。
 - ・ 伊自良地域の真ん中に学校があるとよい。
 - ・ 伊自良は小中一貫教育の9年生の学校でもよいが、現在の伊自良中では教室が足りないのでは。

新しい学校に関する御意見

- 小中一貫校等
 - ・ 伊自良地域、美山地域の小中3校を、それぞれ9年間の小中一貫校にする。
 - ・ 9年間の連続性をもった柔軟なカリキュラム、一体化した校舎などの「小中一貫教育」。
 - ・ たて割りでの活動や地域の方々との交流を考えると、小中一貫校でもよい。
 - ・ 小中まとめた義務教育学校にしてほしい。
- 学校選択制
 - ・ 小1・小2は地元の小学校に入学し、その後、学校を選択できるようにする。
 - ・ 少ない人数がいい子もいれば、多いほうがいい子もいるので、決められた校区で

はなく学校の選択ができることも大切。

- ・ 小規模校ならではの魅力を発信し、希望者は校区外通学を認めてはどうか。
 - ・ 子どもが現在の校区で合わないと感じたら他の校区へ移る等、子どもにとって居心地良いと思える選択ができるようになってほしい。
 - ・ 中学校選択制。
 - ・ 親が送迎するので、自由に校区を選択できる制度を作してほしい。
 - ・ 「地域とのふれあいが多い」「学力に力を入れている」「運動に力を入れている」など、特色ある学校を選べるようにしてほしい。
 - ・ 住んでいる地区によって学校が自動的に決まるのではなく、ある程度選べる環境があってもよい。
 - ・ 学校をそれぞれ差別化し、選べるようになると、子どもひとりひとりに合った学習スタイルを取ることができ、子ども自身の自立につながるのではないか。
- その他
- ・ 岐阜市の草潤中学のように、通学にこだわらずに単位やカリキュラムを子どもが選択できるとよい。
 - ・ 岐阜市の不登校の生徒向けの中学校や広島のエエナプランの公立学校など、普通の公教育の枠にとらわれない学校が地域にあったらうれしい。
 - ・ 北欧やアメリカなどの海外のように支援教育を充実させてほしい。
 - ・ スウェーデンの様な北欧スタイル（ひとりひとりの個性をいかした授業）にしてほしい。
 - ・ 市街地にはない特色を出すことで、移住希望者にもアピールできる。
 - ・ 山県市の自然環境を生かした学校にしてほしい。

検討委員会の進め方に関する御意見

- ・ 地域住民や卒業生の声も踏まえ、大局的な視点から積極果断に進めてほしい。
- ・ 保護者や子どもは不安なので、ひとつひとつ丁寧に説明してほしい。
- ・ たくさんの人の意見を得る機会を設け、よりよいアイデアを集めてほしい。
- ・ 仲間での活動が大切な中学校の規模を中心に考えてほしい。
- ・ この様なアンケートはこれからも様々な内容でとるべき。
- ・ 規模や校区を見直すことでの変化なども教えてほしい。
- ・ 児童数が少ない学校がこんなにあり、今後減っていくことがわかっているのに統合がされていない理由を教えてほしい。
- ・ 子どもたちにも意見を聞く必要がある。
- ・ 定期的に市民に情報提供し、学校規模の現状と課題について関心をもってもらう機会を増やすことが大切。

- ・ 地域毎の住民の思いはあっても、合理的に今後の教育行政を推進すべき。
- ・ 学校運営協議会が中心となり、地域の活性化などについても考える必要がある。
- ・ 入学前の園児たちの親との意見交換を忘れてはならない。
- ・ 山県市の行政の進め方は乱暴で、十分な説明や話し合いがなされずに決められたという住民感情がある。
- ・ 今回、コミスクのメンバーに対してのアンケートが行われたことは、第一ステップとして望ましい。
- ・ 何事も高富中心に考えずに平等に。
- ・ 地域の人意見よりも子どもたちの将来を重点に考えて進めてほしい。
- ・ 先生方が心身の疲労を少しでも減らせるよう現場の声を大切にしてほしい。
- ・ 小規模校の統合については保護者の考えを優先してほしい。
- ・ 回答できる学年の子どもにも聞いてみては。
- ・ 学校統廃合に反対しているのは高齢の方が多いと聞く。若い人の意見をもっと取り入れてほしい。

人口増に関する御意見

- ・ 山県市独自の子育ての取組などをもっと増やしてアピールし、山県市で子育てしたいと思えるようにしてほしい。
- ・ 学校があるうちに、企業誘致、移住促進など地域に子どもが増えるような政策を地域の人たちと本気で話し合う必要がある。
- ・ 子どもを増やしたいなら、高富以外の地域に力を入れてほしい。
- ・ 学校がない地域の人口減少が激しいので、「市の人口減少を解消するひとつの手段が教育」という観点から積極的に検討してほしい。

その他の御意見

- ・ 校舎等の老朽化のほうが気になる。
- ・ 小中学校卒業までに、最低限必要な教育レベルが確保でき地域格差が出なければ、見直しは必要ない。
- ・ 中学校はこれ以上減らしてほしくない。
- ・ 「人数が少ないから統合」ではなく、その地域ごとに小学校は必要。
- ・ 山県市に住んでいる今しかできないことをさせてあげたい。
- ・ 通学の利便性や地域のつながりを考えると、統合に向けた取組を進めるべき。
- ・ 1クラスの人数が多くても、副担任を必ずつけ教師の目を行き届かせれば、いじめや差別やなくなる。

- ・ 幼児のころは地区を越えた活動があるのに、小学校入学以降はない。
- ・ 体力作りや地域の人とのつながりもできるため、小学校は歩いて通学できる範囲がよい。
- ・ 学級の人数の多少により、先生の負担や子どもたちへの指導に差ができてしまう。
- ・ ここ数年、若い先生が少なく休み時間に一緒に遊んでくれる先生がいない。
- ・ 多くの仲間とふれあえることのよさと、少人数ならではの、自分達で考えやりきる力を養えるよさと、両方のいいところ取りができる仕組みができるとうよい。
- ・ 一か所に先生を集め、多くの子どもたちの指導をした方がよい。
- ・ 何か起きたときにすぐにつけられる近い距離に学校があると安心。
- ・ 保育園の数を減らしたのなら、小学校も複数合併すべき。
- ・ 最低でもクラス替えできる程度の人数は必要。
- ・ 現状のまま合併がないなら、他市へ転校しようと思っている。
- ・ 質問3のように「④複式学級でもよい」とあるのは、少人数が悪である考えがかいまみえる。
- ・ 義務教育終了後、子どもたちひとりひとりが生き抜いていく確かな力を身につけているかどうかを一番に考えたい。
- ・ 児童数が少ないからといって合併する必要はない。
- ・ 共働きでPTAの役員が難しい家も多い。「平等にやりましょう」「入るのが当たり前」的な風潮は窮屈。
- ・ 中学生がいろいろ活動できる場所を、学校や部活以外で作ってほしい。
- ・ 校区の再編の影響で、青少年育成関係者の混乱や対立が起きないように一定のルールやガイドラインを示すべき。
- ・ 学校がなくなると地域の人にはさみしいかもしれないが、複式にしてまでその小学校があるべきか疑問。
- ・ 学校を核とした地域連携の強化や小規模校ならではの特色を最大限に生かした学校教育の実践を目指してほしい。
- ・ 特別支援学級は、各学校に必要。
- ・ 少人数制を取り入れ、英数、基礎コース、発展コースなど、ひとりひとりに合わせた学習ができるようにしてほしい。
- ・ 英語で授業を行うなどの特区などで、優れた教育を受けさせたい。
- ・ 「紙から電子へ」「ITよりIOT」「慣例は惰性」を教訓に、教育環境を整えてほしい。
- ・ 約2万7千人の市に12の小中学校は、負担が大きすぎる。
- ・ 旧町村での校区にこだわらず広域的な視点での検討が必要。
- ・ クラス数が減る場合、3月中に保護者に知らせてほしい。
- ・ 全国の学校統廃合の結果を鑑みた効果的かつ先進的、山口市特有の取組みを期待

する。

- ・ 子どもたちには、社会を生き抜く力と、生まれ育った地域の伝統や文化、よき風習なども受け継いで大切にすることを育んでほしい。
- ・ 小規模校ならではの特色ある学校にするなら残してもよい。
- ・ 学校だけでなく保育園の統合も検討してほしい。
- ・ 通学の安全性を一番に考えてほしい。
- ・ 複式学級にならないよう小学校の統合を考えるべき。
- ・ 伊自良北小校区で統合反対意見があるのは、昔の話。
- ・ 美山地域の学校統合はそれなりの成果が出ていると思われるので、高富や伊自良地域でも積極的に取り組んでほしい。